



# 行政懇談会について



# 行政懇談会とは

水戸市役所と連携し、

テーマを基に水戸市のまちづくりを考え、

**市長に発表**していただく取組です。



将来



# 行政懇談会の進め方

- ▶ 行政懇談会ではグループに分かれ、グループごとに発表内容を考えていただくことを基本とします。  
(違う形をとる場合もあります。)
- ▶ グループごとでまとめた意見について、**市長に発表**していただきます。

皆にとっての  
理想の水戸市を  
考えよう！



# まちづくりの重要性について

自分が良い人生を歩むためには、もちろん自分自身の努力は大事です。  
でも、その努力は無人島や誰もいない山奥で暮らしても報われるでしょうか？



つまり、良い人生を歩むためには努力だけでなく、どのようなまちで暮らしているかも非常に重要になります。

そのため、まちづくりは行政だけではなく、市民の皆様一人一人にとっても大事になります。



# 市長への発表について

- ▶ 市長への発表では、グループでの話し合い等をもとに、皆様の御意見を市長に発表していただきます。
- ▶ 市長としては市民の声を直接お聞きできる貴重な機会ですので、積極的な発表をお願いしております。



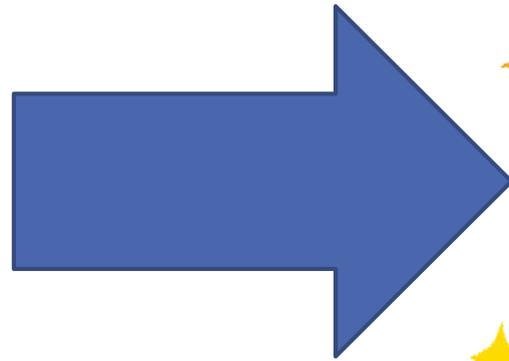
学生の皆様へ

# 学生の皆様へ

- ▶ 現在、水戸市では若者の声を積極的にお聞きするため、**学生（学校）を対象とした行政懇談会の開催に注力しています。**
- ▶ 行政懇談会では、まちづくりを考えることを通して、普段の授業で習っている各科目の枠を超えた（学際的な）視点から学びを深めていきます。
- ▶ 学生の皆様が学校卒業後に良い人生を歩めることは、学校で学びを進める上で大事なこととなりますが、前述の通り、まちづくりを考えることはこれと非常に深い関わりがあります。
- ▶ ですので、普段の授業とはまた違った角度から学びを深めてみてはいかがでしょうか。

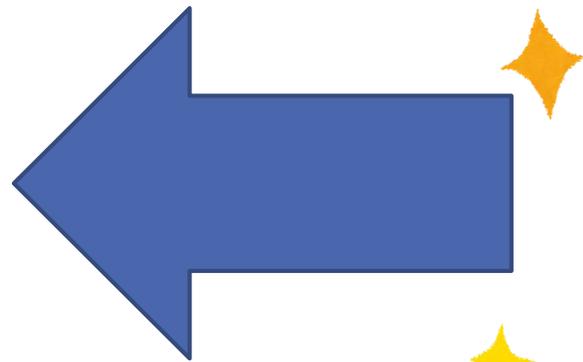
# まちづくりと学習科目との関係

普通の授業では、以下のように、まずは各科目の内容を学び、それがまち（社会）を良くするためにどのように活用されているかを見つける流れが多いかと思います。



# まちづくりと学習科目との関係

行政懇談会では反対に、まずは皆様にとってのより良いまち（理想の社会）を考えていただき、次に、その社会を実現するために各学習科目をどのように活用できるかを考えていただきます。



# 先人の言葉

水戸に伝わる「弘道館記（述義）」においては、その教えの一つとして学問事業一致（学問事業不殊其効）が述べられています。

これは、たとえ格式高い書物や複雑な戦術を理解していても、それを実際に活用して現実の世の中の状況を良くできないならばダメな旨を述べたものです。

つまり、学びを現実の社会に活用することこそが大事であることを述べています。

学習科目をより良い社会に活用していこうとすることは、こうした水戸の先人の教えにも通じるところがあるのではないのでしょうか。



弘道館記碑拓本  
弘道館ホームページから

# おわりに

- 学生の皆様は今の学校を卒業したら、大学に進学したり社会人として働いたりされるかと思います。
- どのような大学（学部）や仕事に進むにしても、それらの内容は、世のため人のためになるものであることは共通しています。
- ですので、行政懇談会でまちづくりを学ぶことを通して、どのような視点（学部・仕事）から社会を発展させていきたいかを考え、将来の進路を決める一助とされてはいかがでしょうか。

